

震災対応訓練【油圧ジャッキ編】



油圧ジャッキの取り扱い

■上げるとき

- ①圧調節バルブを**右**に回して閉める
- ②ハンドルを上下させる

■下げるとき

- 圧調節バルブを軽く**左**に回すと、重みで下がる
(**注意！ 2回転以上回さない！**)



圧調節バルブ



油圧ジャッキを活用した救出方法

1

発見・安全確認

- 倒壊危険や、崩落危険がないことを確認し、安全であれば要救助者に近づく
- 両肩をたたきながら意識・呼吸を確認する



2

重量物の安定化

- 要救助者の挟まれている箇所を確認する
- 要救助者に過重がかかるのを防ぐために、重量物の隙間にあて木などを差し込み、安定化させる



3

油圧ジャッキ設定

- ジャッキは平坦な場所に設定する
 - 設定場所にがれき等があれば、バールを活用して取り除く
 - あらかじめ、ジャッキの高さを調整しておく
- 注意！重量物の下に手を入れない**



4

落下防止措置

- 重量物にヘッドが当たれば、バランスを確認しながら持ち上げる
 - 持ち上げる際は、隙間ができるたびにあて木を差し込み、落下防止措置をする
- 注意！持ち上げるまで要救助者に声掛けを続ける**



5

要救助者の救出

- 圧調節バルブをゆっくり**左**に回し、あて木に過重を乗せる
 - 近くの人と協力して、要救助者を救出します。
- 注意！救出の際は、重量物の下に手を入れない**

